

小学校第5学年 国語科 学習指導案

期 日 平成28年2月19日(金) 第2校時
 場 所 山鹿市立山鹿小学校 5年1組教室
 指導者 教諭 青木 孝憲

1 単元名

特色をとらえながら読み、物語をめぐる話し合おう「わらぐつの中の神様」(光村図書)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校国語科学習指導要領「読むこと」の目標「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」を受け、文学的文章教材の優れた叙述について自分の考えをまとめることを目的とした単元である。「優れた叙述について自分の考えをまとめる」とは、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容に気付き、それらを評価したり、自分の表現に生かしたりして、自分の考えをまとめることである。そのためには、構成や表現に着目して作品を読むことを通して、作品の特色を捉えることが必要である。

本教材は、「現在－過去－現在」という額縁構造の構成だったり、方言や比喻などの表現を効果的に用いたりして書かれている。これらに着目して読むことで、作品の特色を捉えることにつなげることができる。さらに、「物語をめぐる話し合う」という言語活動を行うためには、作品の内容理解はもちろんのこと、登場人物の相互関係、心情、場面、構成、表現についての描写を捉えることが必要となってくる。

これらのことから、本単元は、指導事項と言語活動とが合致して効果的な指導を行うことができる優れた単元といえる。

(2) 系統観

第5学年(9月)	第5学年(11月)	第5学年(2月) 本時	第6学年(4月)
からたちの花	大造じいさんとガン	わらぐつの中の神様	カレーライス

教材名	C読むこと									
	指導事項					言語活動例				
	ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。	イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。	エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。	オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。	ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること。	イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。	ウ 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。	エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。
なまえつけてよ				◎	○					
新聞を読もう		◎	○						★	
見立てる／生き物は円柱形			○		◎		★			
広がる、つながる、わたしたちの読書／千年の釘にいどむ(著作権について知ろう)					○	◎				★
からたちの花	・			◎						
大造じいさんとガン	○			◎	○					
天気を予想する(グラフや表を読む)			○		◎		★			
百年後のふるさとを守る		・	・		○	◎	★			
詩の楽しみ方を見つけよう	◎			○						
想像力のスイッチを入れよう(直接対面しない相手とのやり取りでは)			◎		○			★		
見るなのざしき				◎						
わらぐつの中の神様(方言と共通語)				◎	○					★

(3) 児童観

- 本学級では、「自分から進んで本を読んでいる」児童が28人と半数以上おり、読書に対する意識は高いといえる。また、「好きな本の種類」は物語や科学読み物、歴史の本などである。ただ、図書室での貸し出し状況からは、学習漫画に偏っており、活字を中心とした本へも興味を高める必要がある。
- 「国語の学習をしてよく分かった」と思う場面では、「自分の考えを発表できたとき」「グループで話し合ったとき」が、「先生から説明されたとき」より意識が高く、発表場面やグループでの話し合う場面を設定する必要性がある。
- 熊本県学力調査の結果から、国語科の「関心」「話す・聞く」「読む」「言語文化」の観点において県平均を上回っている。「読む」ことについては、目的や必要に応じて文章などを引用したり要約したりする内容の定着率が67.2%であり、全体の定着率と比較すると低くなっている。

(4) 指導観

- 「ブックコンシェルジュ」という立場を明確にし、課題解決の学習過程となるよう「相手が知りたい、尋ねたい要望に応えられるようになる」という目的意識を持たせ主体的な学びとなるようにする。
- ペアや班及び全体での話し合いでは、理解が深まっている児童の意見のみで話し合いが進むのではなく、全員の意見の発言を促したり、出された意見から納得解を見つけるなどの折り合いを付けたりすることを児童に意識させ、関係形成の能力も高めるようにする。

<p>【視点1】 学びを引き出す豊かなかかわり合いのある言語活動</p>	<p>【視点2】 学びを振り返る思考過程の可視化と学びの振り返り</p>	<p>【視点3】 学びを支える学びのUD化と効果的なICTの活用</p>
<p>○課題意識を高め、課題解決のための言語活動として、単元を貫く言語活動を設定するとともに、言葉への着目・焦点化を行うことで、根拠を明らかにし、考えを述べ合えるようにする。</p>	<p>○ワークシートを工夫したり、ノートでのまとめ方を示したりして、自分の考えを表しやすくするとともに、振り返りの際に考えの変容を見取れるようにする。</p>	<p>○目的意識と相手意識を明確にした学習課題を設定したり、単元の終末に行う言語活動のモデルを示したりして見通しを持って意欲的に学習に取り組めるようにする。</p>

◇インクルーシブ教育の視点から

【基本的環境整備】

- ・学習に見通しが持てるように、単元や1時間の学習過程を提示するとともに、単元の目標を児童に意識させたり、前時の学習内容が想起したりできるように、学習の足跡を教室に掲示する。
- ・板書と学習シートが対応できるようにし、どこに何を書けばよいのか児童が分かるようにする。そのことで、児童の思考がスムーズに流れるようにする。
- ・自分の考えが書けないときには、ヒントを示したワークシートを使って考えが持てるようにする。

3 単元の目標と評価規準（評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料：国立教育政策所）

<p>単元の目標</p>	<p>作品を推薦するという目的に応じ、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、作品の特色について自分の考えをまとめることができる。</p>	
<p>国語への関心・意欲・態度</p>	<p>読む能力</p>	<p>言語についての知識・理解・技能</p>
<p>エ 「本を読んで推薦の文章を書く言語活動」を通じた指導</p>		
<p>①自分が推薦しようと考えた理由を明らかにしながら対象となる本を読み返したり、相手が求めている内容や情報に応じて本を選んで推薦したりしようとしている。</p>	<p>①物語の特徴を把握して推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割を捉えている。(エ) ②物語を推薦するために、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいる。(エ) ③推薦する対象となる本の内容や書き手に関連する本を重ねて読むなど、目的に応じて複数の本や文章を選んで比べて読んでいる。(カ)</p>	<p>①比喩やユーモア、省略、倒置、対句など、文章に表れる表現の工夫に気付き、文や文章を読んでいる。(イケ)</p>

4 指導・評価の計画（9時間取扱い 本時6／9）

次時	学習活動	指導上の留意点 【3つの視点から】	評価の観点（評価方法） B基準	
1 1	○本を薦める言語活動を行う単元の見通しを持つ。 ○「わらぐつの中の神様」を読み、話の大まかな内容を確認、題名の付け方について評価する。	「ブックコンシェルジュ」の立場が理解できるよう、その役割を紹介し、見通しを持たせる。 【視点1】単元を貫く言語活動	関心・意欲・態度①（ノート） 本を友達に薦めるといった言語活動に進んで取り組む内容の感想を書いている。	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> ブックコンシェルジュになって本の内容を評価し、友達の要望に合わせてすいせんしよう。 ～山鹿小に読書の輪をひろげよう～ </div>				
2	○教材文「わらぐつの中の神様」の構成を捉え、読者に与える効果について考える。	現在の場面が必要か考えることで、構成について着目できるようにする。 【視点1】言葉への着目	読む能力①（ノート） 構成の額縁構造に気付き、読者の興味を引き付ける効果があることについて書いている。	
	○読者に与える効果について考え、「わらぐつの中の神様」のあらすじを書く。	事前アンケートの結果から「あらすじ」を知りたいという要望が高いことを示し、課題意識を高める。 【視点1】単元を貫く言語活動	読む能力①（ノート） 物語の構成をもとにあらすじを書いている。	
	○「わらぐつの中の神様」の人物像を捉える。	人物像を捉えるために設定や行動描写などに着目する方法を示し、理解を促すようにする。【視点3】学びのUD化	読む能力①（ワークシート） わらぐつに対する考えなどを図式化するなどして、人物像をつかんでいる。	
	○「わらぐつの中の神様」の現在の二つの場面を比べ「マサエ」の見方、考え方の変化について考える。	思考ツールを活用し、わらぐつとおじいちゃん、おばあちゃんそれぞれのそれぞれに対する見方・考え方の変化について考えられるようにする。 【視点2】思考ツールの活用	読む能力①（ワークシート） 「マサエ」の見方、考え方を図式化するなどして、「マサエ」の心情が変化したことを書いている。	
	6本時	○「わらぐつの中の神様」の表現のよさを見付ける。	表現が工夫された言葉を提示し、表現の工夫について意識できるようにする。 【視点1】言葉への着目	読む能力②（ワークシート） 行動や会話などについての優れた叙述に着目して、その表現のよさを書いている。
	7	○学習を振り返り、「わらぐつの中の神様」の題名の付け方に対する評価を再度行うとともに、表現の工夫について確かめる。	ワークシートを工夫し、学習初期との変化について、児童が自ら振り返られるようにする。 【視点2】学びの振り返り	言語についての知識・理解・技能①（ワークシート） 文章に表れる表現の工夫に気付き、様々な工夫があることについて書いている。
8	○これまでの学習を振り返り、並行読書で読み進めた本について推薦する内容を決める。	事前アンケートの結果を示し、要望の内容について振り返り、課題意識を高める。 【視点1】単元を貫く言語活動	読む能力③（ワークシート） 選んだ本の中から要望に応じた作品の特色について書いている。	
3 9	○ブックコンシェルジュになって、相手の要望に合わせて本の内容を推薦する。	推薦する活動の進め方など学習方法を提示することで、活動を取り組みやすくする。 【視点3】学びのUD化	関心・意欲・態度①（ノート） 言語活動に進んで取り組み、作品の特色に対する自分の考えが広がったことを書いている。	

5 本時の学習

(1) 目標

教材文「わらぐつの中の神様」に書かれた優れた叙述に着目し、人物像や物の様子などと関連付け、その叙述に対する自分の考えを明らかにすることができる。

(2) 展開 (6 / 9 時間取扱い)

過程	学習活動	指導上の留意点及び評価	備考
つかむ 5分	1 本時のめあてを確認する。 めあて	○前時を振り返り、これまでの読みを確かめる。 ○表現の工夫の例を提示する。	単元計画表
	表現のみりよくを見つけ、ブックコンシェルジュに近づこう。		拡大文 短冊
見通す 5分	学習課題 ブックコンシェルジュとしてどれをおすすめしたい？(理由を考える)。	【視点1】言葉への着目・焦点化 会話表現などにおける表現の工夫例を提示し、表現の工夫に着目できるようにする。	
さぐる 10分	2 学習課題について話し合う。 (1) 自分なりの考えをもつ。	徹底指導 (ポイント) ペアなどで話し合う場を設け、学習方法や学習課題について共通理解を図って作業等が進められるようにする。 【視点2】思考ツールの活用 教材文に書かれている表現に対して、どれがいいかという判断を求め、その理由について根拠を示しながら説明できるワークシートを用いる。	思考ツール (図式化)
深める 7分	(2) 全体で確認をする。 (3) 3人組で互いの考えを交流する。 【言語活動】(設定の意図) ブックコンシェルジュになって作品の表現について推薦できるようにするため、班での話し合いを通して、表現のみりよくについて考えをまとめられるようにする。	【視点3】話し合いを進めるファシリテーション 班活動では、全員の意見を促すことや、全員が納得することを目的とすることなど、話し合いの注意点を確認することで交流を深められるようにする。 能動型学習 (ポイント) 交流の目的を「提示された三つの表現から一つを選ぶこと」と明確に示し、目的に沿って班で検討し合えるようにする。	
まとめる 10分	(4) 班の考えを出し合い、選んだ理由や選べなかった理由を検討し合う。	○それぞれの班の考えを比べ、共通する点について着目できるようにすることで、物語の特色について考えられるようにする。	
広げる 8分	3 学習したことを振り返る。 (1) 学習課題に対するまとめをする。 (2) めあてに対して振り返り、次への意欲を高める。	評価：読む能力①(ワークシート) B基準 行動や会話などについての優れた叙述に着目して、表現のよさを書いている。 (B基準に達していない児童(生徒)への手立て) ○板書にまとめた意見から自分の考えと近い考えを選ばせることで、表現が工夫されたよさについて確かめられるようにする。 A基準 読者を引き付ける効果があることについても書いている。 ○話し合いの様子などを紹介し、学び方についても認め合えるようにする。	ワークシート

わらぐつの中の神様

めあて

表現のみりよくを見つけて、ブックコンシェルジュに近付こう

【大造じいさんとガン】表現のみりよく

挿し絵

らんまんとさいたスモモの花が、その花にふれて、雪のように清らかにはらはらと散りました。

課題

ブックコンシェルジュとして、どれをおすすめしたい？（理由を考えよう）
白いほおが夕焼けのようになりました。

①

物語の山場にある表現だから

ほおの赤さの様子
びっくりした様子

はずかしい様子

照れている様子

うれしい気持ち

心情を表す

③
「おかえりなさい。い。とさけんで、げんかんへ飛び出してきました。」

元気な様子

ひみつが分かったマサエの

うれしい気持ち

おじいちゃんにたずねたい

マサエの気持ち

おじいちゃんの見る目が変わったことが分かる

おじいちゃんにどんなことを聞くか知りたくなる

うれしい気持ち

くり返し ↓ もっとうれしい

悲しい ↓ 変わった

満足した

②
うれしくて、うれしくてわかい大工さんをおがみたいような気がしました。

読みたい
気持ちになる

まとめ

〇〇というみりよくがあるから、(①②③)がおすすめ。

ふり返り

分かったこと
表現の特色とは？
友達のがんばり